

「自己に忠実に」

他人との真の関わりを持つためには、私たち自身がまず真実に生きていなければならぬ。自己の真実に忠実に生きることは、行動することによってのみ真実性が確保できる。その真実の場において、私たちは他人との真の関わりを持つことができるのである。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

今月は七夕があります。園の玄関にある七夕飾りの短冊には、それぞれの願いが込められています。一人ひとりの願い事を見ると、とても微笑ましい気持ちになります。

私たちは、日々過ごす中で他人からの評価を得ることを期待したり、上辺だけを取り繕いよく見せようとしてしまい、周囲の意見に縛られ行動に移せなかったり、無理だと諦めて後悔してしまうこともあります。まずは、自分の心と向き合いながら、自らを知ることが大切です。自分の心に決めた思いや信念を軸として歩むことにより、これまでの思考を力に変え、おのずと態度に現れてくるのだと思います。そして、その軸に基づく行動には一貫性が生まれ、また意志を持った選択の積み重ねや決めたことをやり遂げる強さへと繋がっていきます。その姿は人を引き付けるだけでなく、他者から自分もそうありたいと思わせる魅力へと繋がり尊敬や信頼関係を得られより良い関わりができるのだと思います。もっと知りたい、こんなことをやりたいという興味関心から始まる活動は探究心をくすぐり、自ら考え判断し、責任を持って行動する力を育てていきます。出来なかったことも受け入れ、認めてもらい、こんなことをやりたいという興味関心をひろげながら、安心感の中で体験できるような環境作りを行っていききたいと思います。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

7月聖句

主に向って 心からほめ歌いなさい。

エフェソの信徒への手紙5章19節～20節(13節)

7月主題

「きもちいい」0歳

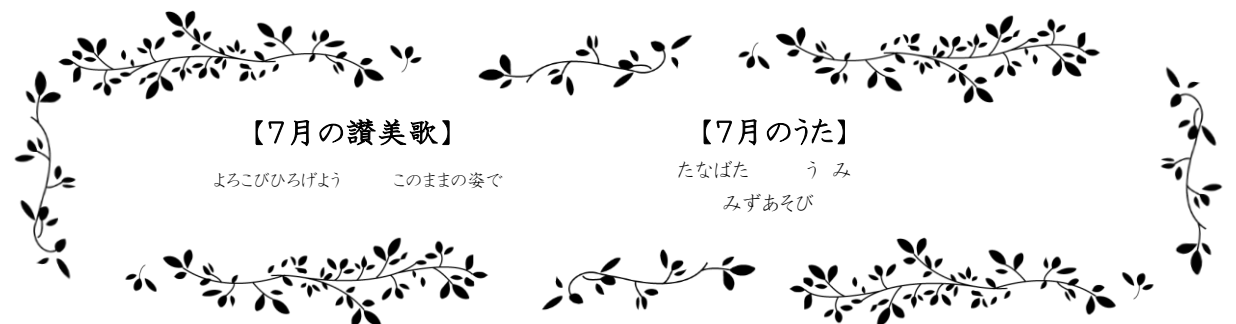
- ・保育者の祈りやさんびかに親しむ。
- ・保育者に汗を流してもらって、気持ち良いと感じる。
- ・砂や水に触れてその感触に興味を示す。

「きもちいい」1・2歳

- ・さんびかを喜んで歌う
- ・保育者との関わりの中で自分の思いを知る。
- ・砂や泥、水や草花に触れて、気持ちよく遊ぶ。

～子どもたちの姿～

梅雨が明け、色々な楽しい行事と一緒に夏がやってきました。7月7日の七夕会では天の川をイメージしたスズランテープにみんなの願いをのせて、色とりどりの星を貼り付けました。その後は、「天の川渡りゲーム」で跨いだり、ジャンプしたりと楽しく体を動かしました。また、「星釣り」では竿をしっかりと持ち、「これが釣りたい」と水に浮かぶ星にねらいを定め真剣な表情をしています。「僕は大きい青色が釣れた」とねらったものを釣り上げた喜びに万遍の笑みを浮かべていました。また、会の中で子どもたちに願い事を聞くと「パワパトロールに会いたい」「フォークリフトに乗りたい」とみんなの前でしっかりと発表し、また聞くことが出来ました。日々にも中でも、伝え合う喜びが味わえるよう、一人ひとりの言葉を大切にしていきたいと思います。



	月	火	水	木	金	土	日	
7月の予定表					1	2	3	
	4	5	6	7 七夕会	8	9	10	
	11 身体測定	12	13	14	15	16	17	
	18 海の日	19	20 避難訓練	21 サマーフェスティバル	22	23	24	
	25 誕生日会	26	27	28	29 クレイシュ通信	30	31	
	<small>◎サマーフェスティバルでは浴衣や甚平などを着用して行います。用意出来次第持参をお願いします。 ◎汗をかきやすい季節になりますので、着替えを多めに用意をお願いします。</small>							